

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36103	ファッションコーディネート演習 Fashion Coordination	長谷川えり子		専門	1	選択	1、2前期
科目の概要							
ファッションの概要をとらえ、スタイリストの仕事内容を知る。ファッションコーディネートの種類とテクニクを学び、専門的な知識・技能を修得することにより、これらを活用してコーディネート能力を養う。様々なファッションアイテムを通してバランス感覚を磨き、ファッションセンスを向上させる。なお、授業の中でミラノ、パリ、ニューヨークコレクション鑑賞により、独自の発想や表現力を高めるために感性を磨く。また、課題に取り組むことで自己の潜在能力の開発に繋げ、多くの人々に波及できるスタイリング提案を目指す。							
学修内容				到達目標			
① ファッション業界におけるスタイリストについて概要を捉える。 ② アイテムの種類とコーディネート方法について、カラー、素材、かたちの面からとらえ、着装を行う。 ③ 生活シーンに合わせたファッションコーディネートの実際について学修する。				① 様々なスタイリストの役割と仕事内容を説明できる。 ② ファッションアイテム種類と特徴を知り、コーディネート演習を通してバランス感覚を磨き、スタイリングを創造することができる。 ③ 様々なファッションシーンに対して最適なトータルファッションスタイルを提案することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ファッション情報を積極的にとらえ、街中、電車の中、TVなど様々なスタイルのコーディネートを観察する。教員が提示した社会人基礎力を意識して授業に取り組む。					
	働きかけ力						
	実行力	授業で学んだ内容を普段のファッションスタイルの中で活かし、実際に応用する。					
考え抜く力	課題発見力	毎日のスタイリングの中で自分なりのこだわりを持ってコーディネートする。					
	計画力						
	創造力	自分の好きなジャンルにこだわらず、様々な感性を表現するためのスタイリングに挑戦する。					
チームで働く力	発信力	発表や課題に取り組む場合は、口頭だけでなく、相手に伝わりやすいように図、写真などを加え、工夫して発表する。					
	傾聴力	課題発表会では、他者の発表をしっかりと聞き、評価できる点を見出す。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：毎時間プリントを配布する 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：ファッションビジネス論 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
普段からファッションに関心を持ち、ファッション雑誌、インターネットなどによりファッション情報に触れるように心がけよう。また、ファッション販売の現場にも足を運び、ショーウィンドウのディスプレイやショップの商品構成を観察しよう。				演習授業であるので、欠席しないこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	30	①	✓			・授業で提示する課題を提出する。 ➢プリントまとめ内容 ➢ゆかたの着装について ➢コレクション鑑賞記録 など
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			・コーディネート提案マップを制作し、PPで発表する。 ➢各自のテーマをもとに、トレンド性、マップ構成など最適なファッション提案ができているかを評価する。 ・発表会で良い点を評価し、教員の評価コメントを加えてフィードバックする。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）ファッション情報を積極的にとらえ、活かされているかを作品で評価する。 （実行力）ファッション動向を捉えているか、作成マップで評価する。 （課題発見力）目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができたか課題で確認する。 （創造力）様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できたを提案マップにより評価する。 （発信力）課題発表会では自分の意見をわかりやすく伝えることができたか、発表内容より評価する。 （傾聴力）課題発表会では、他者の発表をしっかりと聞くことができたか、報告書より評価する。 （規律性） ・学修意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A：ファッションアイテムの種類と特徴を理解し、シーンに合わせてファッション性の高いトータルコーディネートが提案できる。 S：上記に加えて、トレンドを反映した最適な提案ができる。また、積極的に課題に取り組み、多くの学生から評価の高い発表ができる。	B：ファッションアイテムの種類と特徴を理解し、ファッションシーンに合ったトータルコーディネートが提案できる。 C：上記の基準に対して、課題や実習に対して、消極的な取り組みが見られる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ファッションの概要をとらえ、スタイリストの役割について学修する。	講義と質疑応答 P Pにより解説する。	本授業についての取り組みを理解し、ファッションスタイリストの役割を説明できる。	(予習) シラバスを読み、15回の授業内容をとらえる。 (復習) 活躍するスタイリストの状況と仕事内容を調べる	60	創造力 柔軟性
2	ファッションアイテムの商品知識① トップスアイテムについて種類と形の特徴を解説する。	講義と質疑応答 P Pにより説明し、視覚的に内容を捉える。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。	シャツ、ブラウス、ジャケットなどの形と名称、アイテムの特徴を説明できる。	(予習) ワードローブの中でトップスの種類とデザインをまとめる。 (復習) プリントを整理し、自分のワードローブを見直す。	60	主体性 傾聴力
3	ファッションアイテムの商品知識② ボトムスアイテムについて種類と形の特徴を解説する。	講義と質疑応答 P Pにより説明し、視覚的に内容を捉える。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。	スカート、パンツ、ワンピースなどの形と名称、アイテムの特徴を説明できる。	(予習) ワードローブの中でボトムスの種類とデザインをまとめる。 (復習) プリントを整理し、自分のワードローブを見直す。	60	主体性 傾聴力
4	ファッションアイテムの商品知識③ 小物アイテムについて種類と形の特徴を解説する。	講義と質疑応答 P Pにより説明し、視覚的に内容を捉える。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。	アクセサリ、バッグ、靴、帽子などの形と名称、アイテムの特徴を説明できる。	(予習) 手持ちの小物の種類とデザインをまとめる。 (復習) プリントを整理し、自分の小物を見直す。	60	実行力 発信力
5	カラーコーディネート演習① 配色カードを使用して、色彩調和理論によるコーディネートを実習する。 準備-配色カード、紙切り、のり	演習 P Pにより概要説明後にカラーコーディネート方法に合わせて実習する。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。	カラー情報について、配色テクニックとコーディネート方法の特徴を知り、プリントにまとめることができる。	(予習) カラーを中心にしたトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習) 本日学修したカラーコーディネートスタイルのカラー展開をまとめる。	60	実行力 発信力
6	カラーコーディネート演習② 前回学修したコーディネート例について、実際のコレクションスタイルから抽出する。	演習 P Pにより概要説明後コレクション情報からコーディネートスタイルを検索する。表にまとめ、提出後フィードバックする。	カラーコーディネートスタイルを理解し、コレクション情報から検索することができる。	(予習) カラーを中心にしたトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習) 本日学修したカラーコーディネートスタイルのカラー展開をまとめる。	60	課題発見力 発信力
7	マテリアルコーディネート演習 実際の布地を使用して、素材の組み合わせによるコーディネートを実習する。 準備-はさみ、のり	演習 P Pにより概要説明後に素材毎に実習する。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。	演習 P Pにより概要説明後に素材毎に実習する。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。	(予習) 素材を中心にしたトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習) 本日学修したスタイルの素材の特徴をまとめる。	60	主体性 発信力
8	ファッションイメージコーディネート演習 8つのイメージ特性をとらえ、イメージに合ったスタイルを学修する。	演習 P Pにより概要説明後、ファッションイメージに合ったスタイル収集する。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。	ファッションイメージの分類を理解し、それぞれのイメージに合ったスタイルを提案できる。	(予習) 自分の好きなイメージに合ったスタイルを着装する。 (復習) イメージとスタイルの特徴をまとめる。	60	創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ファッションアクセサ リーコーディネート演 習 アクセサリーの種類を 知り、アイテムに合わ せたコーディネートを実 習する。	演習 アクセサリーの概要を 捉え、ファッションに 合わせてコーディネー 演習する。プリントをま とめ、提出後、フィ ードバックする。	アクセサリーの種類を 知り、スタイルに合わ せた活用方法を提案で きる。	(予習) 本日のスタイ ルに合ったアクセサ リーをコーディネート する。 (復習) 手持ちのアク セサリーとスタイル検 討する。	60	創造力 発信力
10	アイテムのコーデ ィネート 様々なアイテムのコー ディネートについて、 スタイリングの基本を 実習する。	演習 PPにて内容を解説後、 アイテム別にコーデ ィネートの手法を説明 し、プリントにまとめ る。	ファッションアイテム の基本的なバランスの とり方について把握で きる。	(予習) 本日のスタイ ルのテーマ、こだわ りを考えプリントにま とめる。 (復習) ワードローブ の中から新しいコー ディネートを検討し、 画像保存する。	60	創造力 発信力
11	和服のコーディネート 演習① 和服の種類と小物の名 称を学修する。	演習 PPにて内容を解説後和 服のたたみ方や取り扱 いについて実習する。	和服の構造を知り、小 物を含めた名称を理解 できる。	(予習) 浴衣の着装写 真を観察し、概要をと らえる。 (復習) 浴衣のたたみ 方をまとめ、手持ちの 浴衣を再度たたむ。	60	主体性 傾聴力
12	和服のコーディネート 演習② 和服の畳み方と浴衣の 着付けを実習する。	演習グループワーク 教員のデモを見て、実 際に浴衣を着装する。 着装記録をまとめ、提 出後にフィードバック する。	浴衣の着装を習得し、 着付けを通して、正し い着装ができる。	(予習) 浴衣の帯結び の種類を調べる。 (復習) 浴衣の着装を 再度繰り返し実習す る。	60	主体性 傾聴力
13	ファッションスタイル の提案演習 旅行をテーマにした コーディネートの提案 を行う。 TPOに合わせて、計 画を立案し、情報を収 集する。	演習 課題説明後、テーマに そって、コーディネー ト計画を立て、情報を 収集する。	テーマを設定し、情報 を収集することができる。	(予習) トレンド ファッションをイン ターネット上で調べ る。 (復習) テーマに合わ せたスタイルを収集す る。	60	課題発 見力 創造力
14	ファッションスタイル の提案演習 課題発表のためのプレ ゼンテーションの準備 を行う。	演習 収集した情報をもとに 各自、コーディネー ト提案のPPを作成す る。	設定したテーマのシー ンに合わせたコーデ ィネート提案をPPにま とめることできる。	(予習) PP作成の手 順を予め考案する。 (復習) 作成したPP の発表原稿を作成す る。	60	実行力 発信力
15	ファッションスタイル の提案発表 制作したコーディネー ト提案を発表する。ま た、他の発表の評価を 行い、学び合う。	演習、プレゼンテー ション 制作したファッション スタイル提案を発表 し、評価する。まとめ のプリントは点検後、 フィードバックする。	自分の課題を発表し、 他の発表を評価するこ とができる。	(予習) 発表のための 原稿を読み練習する。 (復習) 発表内容を振 り返り、プリントにま とめる。	60	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力